

東京で学ぶ 京大の知  
シリーズ②9

近年、雑誌やテレビ等で特集が組まれることが多いIoT社会。ビル、工場の生産ラインやエアコン等の制御管理だけでなく、Apple Watchやバスの到着案内サービス等の様に、モノがインターネットにつながった世界が私たちの生活に身近なモノとしてますます存在感を増しています。これらの技術は、新たな経済発展や社会的価値を創り出すと想定され、第4次産業革命とも言われています。産業革命等の歴史を辿れば、技術がそれまでの社会のあり方を変えることは必然でもあります。

今回は前回に引き続き、「未来につながる情報化社会」と題して、注目される最新のテクノロジーが私たちの社会にどのような影響を及ぼすのか、私たちの生活はどのように変わっていくのか、将来の展望と課題について考えてみたいと思います。

主催 京都大学 講演時間 各回18時30分～20時

参加費無料

# 未来 につながる 情報化 社会 展望 と 課題



第1回

11月22日(木)

吉田 純

人間・環境学研究所  
教授

## ソーシャルメディアの 光と影

ソーシャルメディアは、私たちの社会関係のあり方を大きく変えました。それは社会関係の「自由」という「光」を拡大しましたが、同時に「自由」がゆえのリスクという「影」をももたらしました。この講演では、ソーシャルメディアの光と影の両面について、「親密性」と「公共性」というキーワードを手掛かりに考えていきたいと思います。



第2回

11月27日(火)

神谷 之康

情報学研究所  
教授

## 脳から 心を読む技術

「脳から心を読む機械」は古くからフィクションに登場しますが、その可能性が科学的議論の対象となったのは、ごく最近のことです。脳の信号は心の状態をコード化している「暗号」と見なすことができます。脳の暗号を人工知能を用いて解読することで広がる未来の技術の可能性について議論したいと思います。



第3回

12月4日(火)

島田 裕子

法学研究科  
准教授

## 情報化社会の働き方と 労働法の未来

人工知能の発達、クラウドワークの発達によって、私たちの働き方は大きく変わろうとしています。毎朝出勤し、同僚とともに仕事を済ませ、夜に帰宅するという典型的な労働者像に当てはまる人は減っていくでしょう。機械化が進めば、人間の仕事の中身も変わってくるでしょう。これに対して、労働法は、どのように変わっていくのか考えてみたいと思います。



第4回

12月11日(火)

依田 高典

経済学研究科  
教授

## プラットフォームの経済学

なぜ独り勝ちが起きるのか？  
GoogleとUberのビジネスの秘密を考えるー  
インターネットの社会では、ネットワーク効果を駆使して、世界的市場を独り勝ちするプラットフォーム企業が登場しています。その代表格であるGoogleとUberのビジネスモデルの秘訣は何でしょうか。なぜこうしたプラットフォーム企業は、ライバルを寄せつけないのでしょうか。この講演では、経済学の目からそうした謎を論理的に解き明かし、日本企業の商機を探ります。



## 開催場所 「京都アカデミアフォーラム」 in 丸の内

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

問い合わせ先 京都大学総務部渉外課 京都市左京区吉田本町 国際科学イノベーション棟3階  
TEL) 075-753-2233 (月～金 9:00～17:00) FAX) 075-753-2286 E-mail) event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp  
URL) [http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/open\\_course/kyoudainochi](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/open_course/kyoudainochi)

申し込み方法 [お申し込みはWEBまたはFAXで]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込みください。各回定員120名、締め切りは11月11日(日)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、申し込み多数の場合は、抽選となります。詳しくはホームページをご覧ください。



スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から上記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。